



きずな

連盟総会



札幌地区少年サッカー連盟の総会が4月15日にホテルライフオーで行われました。各チームの指導者が集まり、1年間の連盟の運営についての提案が行われる会でした。

会に先立ち、前年度をもって会長の職を終えられた川口谷正前会長からのお話がありました。時折言葉を詰まらせ、涙ぐみながら、札幌地区でがんばるサッカー選手やその保護者、指導者のみなさんへの熱い想いをお話くださいました。これまでも総合開会式の場で、「自分で汚したソックスやパンツは、家の人に任せず、自分で洗うべきだということ」、「支えてくれる周りの人への感謝を忘れてはいけないこと」、「サッカーの場で絶対にいじめが起きてはいけないということ」、「困っている友達を支える勇気を

もつこと」等、大切なことを札幌の子どもたちに教え続けてくださった川口谷会長でした。これまでの教えを忘れずに連盟をつなげていくことを多くの指導者が心に刻む時間となりました。

そして、新会長となられた藤田会長からは、御自身の札幌のサッカー少年団での経験や審判員としての経験をもとに、子どもたちにかかわる大人の心構えについてのお話がありました。新会長の下、新たな気持ちでスタートを切ることができました。

会議で提案された内容は全て承認され、2024年度の札幌地区少年サッカー連盟の活動が始まりました。選手、保護者、指導者、審判員、大会役員、…みなさんの力で素敵な組織をつくっていきましょう。

